

日本一の地下水都市・熊本に 「街なかの親水施設誕生」

この3月、九州新幹線全線開業に合わせ、熊本駅から熊本城に至るルートに街めぐりの拠点として、水道水源を全て地下水で賄う「日本一の地下水都市」にふさわしい親水施設が誕生しました。これらの親水施設にはいずれも、親水空間と水飲み場で構成する施設で、親しみのある愛称をつけており、新幹線で来熊される皆様や、市民の皆様に「おもてなし」の場として、また熊本らしさにあふれる「街なかの親水空間」として活用していただきたいと思います。

- 「阿蘇恵みの水」 (熊本駅新幹線口駅前広場)
- 「祇園さんの水」 (祇園橋際ポケットパーク)
- 「城下町の水」 (明八橋)
- 「せんばの水」 (洗馬橋電停)
- 「清正公さんの水」 (行幸橋際加藤清正公銅像前)
- 「城見の水」 (熊本市役所前)



(阿蘇恵みの水とウォーターステーション)

～くまもとの水を大切に～

雨水を使って熊本の地下水を守る。タンクで節水を！

雨水を上手に活用すれば、水資源の有効活用となり、熊本の地下水保全につながります。雨水有効利用のひとつに雨水貯留タンクがあります。

雨水タンクとは、雨水を貯める容器のことで、雨といを通じて屋根に降った雨水を集めます。雨水タンク、雨水利用タンク、雨水貯留槽など呼び方はいろいろあります。雨水タンクの容量は、30リットルほどの小さなものから、300リットル以上の法人用まで多数の製品が販売されています。

雨水タンクをつけると？

- ①庭の植木の水遣りや洗車に最適で、水道水の節水(節約)につながります。
- ②一度に下水道等に流れ出ることを防ぎ、洪水や浸水の防止にもつながります。
- ③貯めた雨水は、災害の対応等、非常時の生活用水にも利用可能です。

雨水タンクの水をそのまま飲み水として使うのは難しいですが、ちょっとした手洗いとか、トイレの水、汚れた食器洗いなどに利用することができます。



最近の雨水タンクは
こんなにお洒落！

ひとつひとつは小さな取り組みですが、たくさんの建物が雨水タンクを設置していけば、熊本の地下水保全に貢献できます。皆さん、エコで環境にもやさしい、雨水タンクを設置しましょう！

補助制度を活用して雨水貯留タンクをつけましょう!!!

200リットル以上の雨水貯留タンクを設置される方には熊本市の補助制度があります。

★事前に熊本市への申込が必要となりますのでご注意ください★

＜補助の概要＞

新設工事費の3分の2(上限3万5千円)が対象となります。
申込などは詳しくは水保全課(電話096-328-2436)へ。

【事務局からのお知らせ】

①住所や連絡先は変わっていませんか？

転勤などで、住所、連絡先などが変わった場合は、事務局までお知らせください。まずは電話かメールで。

②活動情報をお寄せください
清掃活動、講演会、その他イベント、些細な情報で結構ですのでメール・FAXなどで情報を提供してください。

編集後記

遅くなりましたが、無事水守だより第2号を発行することができました。まだ水守の皆さんと接して1年足らずですが、くまもとの「水」というひとつのテーマにいろいろな分野の方々が携わっていることに驚いています。
また、今回お忙しいところ原稿等をお願いした水守の方には、皆さんに快く引き受けていただき、感謝するばかりです。ありがとうございました。(N)

水守だより

【くまもと水守事務局】

〒860-8601 熊本市手取本町1番1号 熊本市環境保全局水保全課
電話096-328-2436 FAX096-359-9945 mizuhozen@city.kumamoto.lg.jp



くまもと水守とは、熊本の水を愛して活動する人たちの愛称で、熊本市が登録しています。

水守さん訪問

- ①お名前・水守名／②活動内容は？／
③最近どうですか？／④他の水守さんへ一言



①古澤さん(地下水汚染対策水守/写真右)・荒牧昭二郎さん(地下水保全水守/写真左)／②熊本平野の地下地質構造と“水みち”の追及の研究をしています。／③昨年は熊本地盤研究会(代表中山洋)で深井戸ボーリング柱状図を集めて「熊本周辺の地質断面図」を作成しました。今後は熊本平野北部(山鹿、菊池など)の地質断面図を作成すること、自然地下水位を調べ“水みち”を追及したいと思っています。これまでにわかった地下水の流れは、地層の分布と単純に一致するのではなく、地層を横断する割れ目に大きく関係していることがわかりました。／④地下水の“水みち”や集水区域がわかると、汚染対策や水量保全対策のよりの確な検討が可能になります。近頃は硝酸性窒素による地下水汚染や福島原発の事故による水道水の放射能汚染が報告されています。安全でおいしい地下水の重要性が見直されています。水守として少しでもお役にたてるよう頑張りたいと思っています。



①井村 紘(中無田閘門水守)／②舟運の時代に建設された運河である中無田閘門の施設管理、操作人／③昨年より、傷んでいた中無田閘門の改修工事が始まり、今年の3月に見事な閘門が出来上がりました。水を利用した閘門の施設を使って、舟やカヌー等で体験学習することが出来ます。／④水や川、食べ物、環境等いろいろな方々の水守としての活躍を知りました。川に残されたミニパナ運河中無田閘門、全国に閘門設備が数ある中で、木造の門扉は全国に1つしかありません。是非一見の価値があります。お出かけください。



①森本 優貴美さん(Junior水守)／②昨年8月には「世界子ども水フォーラム・フォローアップin北海道」に参加しました。そこで、全国各地から集まった中高生と情報交換・意見交換をしました。大会の最終日には分科会ごとに意見をまとめ、発表会を行いました。また、白川の水質調査や日頃の節水なども行っています。／③2月から水守になり、水守例会に参加しました。ほかの水守さんのお話や、水道記念館の見学はとても勉強になりました。今回学んだことをどんどん広げていきたいです。／④くまもとの水は、全国的に見てもなかなか無いとてもきれいな水です。だから、水守みんなで情報発信をがんばっていきましょう!



①水野直樹(ラジオ水守)／②担当しているラジオ番組「校区的チカラ(FM791:金曜11時～15時)」で、12時45分から約10分間、水守さんや水に関する情報・取り組みを紹介しています。／③番組で紹介した場所へ、娘や息子を連れて家族で訪れることが多くなりました。成道寺川での自然体験、中無田閘門での水遊び、江津湖でのザリガニ探し。豊かな水資源がもたらす贅沢な暮らしを体感しています。／④水守さんの活動を紹介することで、少しでも多くの方に熊本の水に関心をもって欲しいと思っています。日頃の取り組み、催しなどをぜひお知らせください。番組で紹介させていただきます。